

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第55号 (平成29年5月1日)



象ひきまつり (相知町)

5月3日 開催

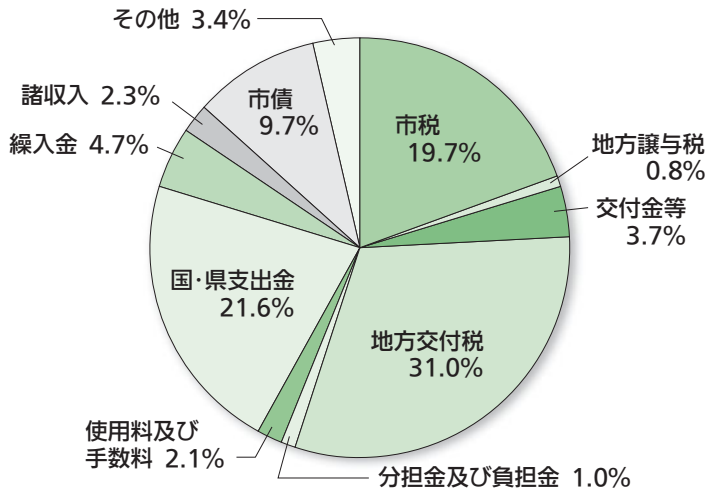
目次

- ・平成29年度当初予算・平成28年度3月補正予算 … P2・P3
- ・議案質疑 …………… P4・P5
- ・予算等特別委員会審査報告 …………… P6・P7
- ・一般質問 …………… P8~P14
- ・特別委員会審査報告・意見書(要旨) …… P15
- ・特別委員会設置・現地調査・編集後記 … P16

635億2,810万円を可決!

対前年比: △56億8,396万3千円、マイナス 8.2%

歳入予算



【農林水産業費】 34億188万7千円

- ・ さが園芸農業者育成対策事業補助金 1億2,759万9千円
- ・ 中山間地域等直接支払事業費 3億5,860万円
- ・ 猪等駆除事業費 3,155万7千円
- ・ 多面的機能支払交付金 3億6,310万4千円
- ★ 農村地域防災減災事業費 870万円
- 唐津水産業活性化支援事業費 1億2,207万1千円
- ★ 漁港機能保全対策事業費 750万6千円

【商工費】 27億6,247万6千円

- ・ 創業・新事業展開支援事業費 826万9千円
- ・ 唐津焼産業振興事業費 1,104万9千円
- 賑わいのまちづくり推進事業費 3,656万6千円
- ・ 企業立地促進補助金 2億3,059万4千円
- ・ コスメティック産業推進事業費 4,926万4千円
- ・ 唐津コスメ海外展開促進事業費 1億8,530万円
- ・ 観光地域づくり事業費 2,765万6千円
- ・ (一社)唐津観光協会補助金 9,450万7千円
- ・ からつ観光協議会補助金 696万6千円
- ★ 旧大島邸管理運営費 2,765万円

平成29年度当初予算の基本方針

市長・市議会議員選挙が実施されたため、市民生活に直結する福祉施策や教育施策をはじめ、継続的事业など、切れ目のない対応を要するもののほか、まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿った事業のうち、当初予算化が必要なものについての予算措置となった。

【平成29年度当初予算の主な事業】

★印は新規事業、○印は拡充事業です。

【総務費】 71億4,294万9千円

- ・ ふるさと寄附金推進費 15億2,500万2千円
- ・ 移住促進プロジェクト費 1,701万2千円
- ・ 新エネルギー導入推進費 548万7千円
- ・ 離島活性化交付金事業費 741万円
- ふるさと集落活性化事業費 2,687万3千円
- ・ がんばる地域応援補助金 1,700万円
- 市民協働のまちづくり交付金 8,000万円

【民生費】 204億1,605万2千円

- ・ 障害福祉サービス費 23億7,655万4千円
- 子ども・子育て支援事業費 3,402万円
- 子どもの医療費助成費 3億3,174万2千円
- ★ 保育所等防犯対策強化整備事業補助金 859万5千円
- ・ 児童手当 22億1,556万円
- ・ 児童扶養手当 8億6,949万4千円
- ・ 教育・保育施設給付費 40億8,365万5千円
- ★ 子育て支援センター運営費 1,768万8千円
- ★ 厳木地区認定こども園用地整備事業費 6,422万9千円
- ・ 扶助費 33億1,619万8千円

【衛生費】 64億7,994万3千円

- がん検診事業費 1億3,799万2千円
- ★ 旧唐津赤十字病院跡地整備費 885万6千円
- 歯科保健事業費 779万7千円
- ・ 予防接種費 3億4,355万9千円
- 唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業費 1,024万6千円
- ・ 清掃センター維持管理業務費 5億7,993万5千円



平成29年度 当初予算

一般会計

(前年度当初予算 692億1,206万3千円)

【土木費】 52億8,441万2千円

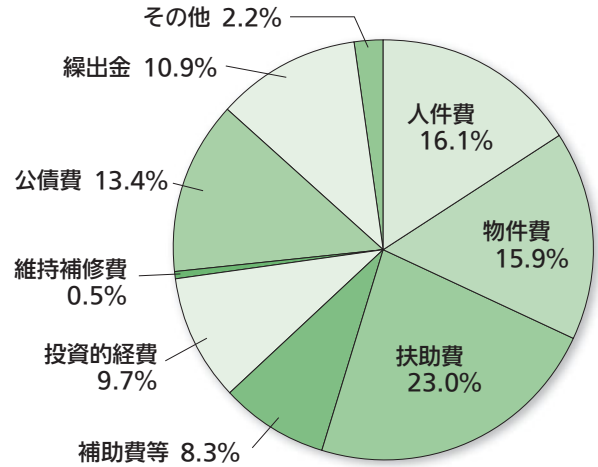
- ・道路維持改良費 2億7,566万8千円
- ・道路新設改良費 6億9,025万9千円
- ・橋りょう長寿命化事業費 1億5,600万円
- ・交通ユニバーサルデザイン化事業費 750万円
- ・唐津港寄港誘致促進費 658万7千円
- ・みなとオアシスからつ事業費 581万3千円
- ・呼子地区住宅整備費 4億2,286万9千円
- ★住宅・建築物耐震改修事業補助金 345万円

【消防費】 18億1,007万2千円

- ・地域防災力向上促進事業費 345万円



歳出予算



【教育費】 70億3,150万4千円

- 特別支援教育費 1億823万2千円
- 「いきいき学ぶからつっ子」育成事業費 1,134万6千円
- ・公民館類似施設整備補助金 1,876万2千円
- ・スポーツ・文化合宿等補助金 540万円
- ・体育施設整備費 2億7,238万2千円
- ・唐津市文化体育館整備費 2,846万3千円

平成29年度特別会計当初予算

(単位:千円)

特別会計	平成29年度 当初予算 金額	比較		
		対前年度当初比		
		増減額	増減率	
国民健康保険	18,873,335	△104,600	△0.6	
後期高齢者医療	1,503,563	△911	△0.1	
介護保険	12,822,705	244,139	1.9	
養護老人ホーム	296,611	△14,263	△4.6	
介護サービス事業	33,347	△1,785	△5.1	
下水道	6,249,671	△312,810	△4.8	
集落排水	1,316,260	146,807	12.6	
浄化槽整備	426,887	△17,072	△3.8	
観光施設	86,330	37,931	78.4	
有線テレビ事業	545,677	13,012	2.4	
北波多中央部開発事業	24,002	△130,667	△84.5	
合計	42,178,388	△140,219	△0.3	
水道事業	収入	4,048,287	△225,895	△5.3
	支出	5,171,291	△97,852	△1.9
工業用水道事業	収入	118,620	△38,707	△24.6
	支出	162,532	△31,262	△16.1
市民病院 きたはた事業	収入	642,664	△26,461	△4.0
	支出	675,835	△52,278	△7.2
モーターボート 競走事業	収入	39,782,515	4,676,526	13.3
	支出	39,209,790	4,260,281	12.2

平成28年度3月補正予算

15億6,997万3千円の減額補正を可決!

※3月補正後の平成28年度の予算は

768億611万5千円

国の補正予算に伴う事業一覧

一般会計	
中小企業・小規模事業者及び地方の支援 唐津コスメ海外展開促進事業費 1億1,982万6千円	
安全・安心、防災対応の強化 高齢者施設等防犯対策事業補助金 1,425万7千円 高齢者施設等防犯対策事業費 355万9千円	
特別会計(養護老人ホーム)	
安全・安心、防災対応の強化 寿光園事務費 129万6千円	



議案質疑

提出された55件の議案に対して各会派から17名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

凡例

総務...総務部長、企画...企画部長、財務...財務部長
市民...市民部長、保健...保健福祉部長
農水...農林水産部長、商観...商工観光部長
交流...交流文化スポーツ部長、都市...都市整備部長
ボ事...ボートレース事業部長、教育...教育部長

議案第2号 平成29年度唐津市一般会計予算

1. 総務費「からつ力向上推進費」…… 280万円

質疑 からつ力とは何か。

答弁【企画】 からつ力とは、「生産」「観光」「教育」「安心」「発信」の総合力を表現したもので、豊かで活力ある唐津市を目指し実現していくため、これら「からつ力」を最大限に引き出し、活用していくことが重要である。からつ力の向上とは、この「最大限に引き出し、活用すること」を指し、さまざまな視点から積極的に推進していく必要がある。

質疑 事業内容と成果は。

答弁【企画】 早稲田大学大学院創造理工学研究科とまちづくりに関するプロジェクトを検討。九州大学や佐賀大学との連携で、完全養殖唐津Qサバをブランド化、神集島における離島のレンズ風車の実証事業、唐津焼き産業人材養成プロジェクトに取り組んだ。唐津地域経済研究所の調査では、8分類25項目について集計作業を行い、市のホームページで公表。平成27年度は約680件の閲覧だったが、平成28年度は約900件の閲覧があった。

2. 総務費「移住促進プロジェクト費」…… 1,701万2千円

質疑 移住促進プロジェクトとは。

答弁【企画】 平成28年3月に策定した「唐津まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一つで、唐津市への移住促進に取り組むもの。

質疑 事業内容は。

答弁【企画】 「移住フェアへの参加」「移住情報ホームページ」の情報発信に関する事。短期の移住で唐津暮らしを体験する「お試し移住」は平成28年度から実施し、平成29年度は1軒を追加し2軒で実施予定。移住希望者に最長1カ月間の移住体験をしてもらうもの。空き家バンク制度は平成28年度6月から運営を開始。所有者から申請を受けた空き家情報を移住専用ホームページで情報発信し、移住希望者と空き家所有者の橋渡しを図るもの。

3. 民生費「子ども・子育て支援事業費」…… 3,402万円

質疑 子育て支援を包括的に行う目的は。

答弁【保健】 母子保健との連携で切れ目のない包括的な子育て支援、適切な施設事業となる。また、気軽に集える新たな視点での交流の場として、子育ての不安を予防する役割が發揮できる。日中、家庭で育児をしている親子の交流の場として、子どもを産み育てやすい環境づくりとしての効果に期待している。

4. 民生費「子どもの医療費助成費」…… 3億3,174万2千円

質疑 昨年と比べ増額している理由は。

答弁【保健】 小中学生が現物給付となることから、これまでは病院にかかっても、払い戻しの申請をされない方もいたが、手続きが不要となることから、全てにいきわたることが主な要因。市の経費は増額となるが、本制度の趣旨である、子どもの疾病の早期発見、早期治療と子ども達の健やかな健康を願うという目的により一層寄与できる。

5. 衛生費「唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業費」
…… 1,024万6千円

質 疑 平成29年度の事業内容は。

答弁【市民】 環境保護・環境美化事業、環境企画・環境教育事業、環境団体の自主事業の構築確立事業の3区分で、全ての事業の補助率を90%に変更。環境保護・環境美化事業の限度額を12万円。環境企画・環境教育事業の限度額を50万円。環境団体の自主事業の構築確立事業の限度額を100万円。事業内容や成果の検証を行うため、4年間で補助期限とした。これまで利用していた団体の活動は3区分のいずれかに入る。

6. 農林水産業費「唐津水産業活性化支援事業費」…… 1億2,207万1千円

質 疑 現在の研究状況及び今後のマサバの供給量の計画は。

答弁【農水】 水産業活性化支援プロジェクトには5つのプロジェクトがあり、唐津Qサバの完全養殖プロジェクトをはじめ、ウマツラハギ、マアナゴ、ケンサキイカ、カタクチイワシのプロジェクトをすすめている。唐津Qサバ産業化促進業務では、養殖用、出荷用ストックの水槽を整備して、今後の量産体制に備えていく。将来的には約15万尾を出荷できる体制をつくりあげたいと考えている。

7. 土木費「浜崎駅南北線(仮称)外2路線道路改良費」…… 2,130万9千円
「浜崎駅周辺整備事業費」…… 1,086万7千円

質 疑 浜崎駅周辺整備の全体事業費は。

答弁【都市】 全体事業費は約14億8千万円。

質 疑 南北2ヶ所の改札口に変更した後、住民説明会が行われていないが。

答弁【都市】 平成29年1月5日の浜玉地区駐在員会で説明はしたが、住民説明会は行っていない。今後、駅舎や自由通路のデザイン検討を行っていく折に住民説明会を開催したい。

議案第25号 市長の給料の支給額の特例に関する条例制定について

質 疑 この議案の提出は、提出理由にあるように唐津市の財政難が理由なのか。

答弁【市長】 財政健全化の指標とされる唐津市の実質公債比率や将来負担比率は、佐賀県で下位である。しかし、市長の給料は佐賀県10市で一番高い。そうした中で唐津市は、平成32年度までの合併特例期間を過ぎると大変厳しい財政状況が考えられる。給与を減額することによって、自身が財政運営について危機感を持ち続け、市政運営の道筋をつけていかなければならないと考え提案した。

質 疑 今回の減額の提案は、給料だけである。給料でなく給与とすれば、ボーナスや退職金を含めた各手当まで減額となるが、ボーナスや退職金は満額を受け取るということでの提案なのか。

答弁【市長】 その通り。

質 疑 今回の減額の提案によって、他の職員の給与にも影響するというのを考えたのか。

答弁【市長】 今回の減額提案は、今後の財政状況に対する自身の危機感を維持するためであって、副市長や教育長、一般職員の給料を減額する気持ちはない。

議会を傍聴してみませんか

3月定例会の傍聴者は、本会議延べ50名でした。
次回の市議会定例会は6月に開かれる予定です。
車椅子専用の傍聴席(2席)も整備されています。

予算等特別委員会審査報告

3月 定例会



総務教育分科会

◎**明るい選挙推進費**
質疑 投票所が減ったが影響は。
答弁 投票所減は、平成27年からで、89カ所から78カ所に減らして、平成28年に76カ所に減。県議会議員選挙及び参議院選挙の投票率は微増だが、今回の市長、市議会議員選挙は、6.14%減となった。

質疑 投票率減となったが、選挙管理委員会としてアップの方策は。
答弁 18歳選挙権が導入され、学校関係の主権者教育、投票率向上のため広報などで啓発を図っている。また、期日前投票所を9カ所設け、投票を呼び掛けている。必要であれば、共通投票所も検討。

◎**移住推進プロジェクト費**
質疑 現況は。
答弁 お試し移住用家屋を1件借上げ、希望者をホームページで募集し、最長1カ月の体験が出来た。平成28年度は7組が体験。内2組が唐津に移住された。
質疑 空き家バンクの状況と登録増への取組は。
答弁 18件の物件が登録、内3件の売買契約が成立。登録増に向けては、ホームページや固定資産納税通知書を送付するときに、情報提供の広告を入れる。また、駐在員情報などで増加につなげる。

◎**議案第25号市長の給料の支給額の特例に関する条例制定について**
質疑 市民の劣等感を仰ぐかじ取りでなく、レベルの高い市長にしたいが。
市長 選挙公報は、劣等感を仰ぐようなところだったかもしれない。
質疑 危機感を持たせるより、産業発展で盛り上げるべきでは。
市長 産業発展の施策は全然やぶさかではない。
質疑 市長給料を減額しないといけない現況だと市民が受け取り、職員の給料減につながるのでは。
市長 将来にわたって市民の心配につながるものではないと認識していた。あくまで自分自身へのいましめであり、他への影響は考えていない。
質疑 一年間行って判断されては。
市長 今、公約の中で出来るのはこれであり、実現に向けて提案。
【付帯意見】 市長自身のいましめであり、他への影響を及ぼさないことを遵守すること。

◎**議案第72号唐津市一般会計補正予算・新庁舎建設基本計画策定費**
質疑 策定業務の予算が2000万円、入札額が20万円だが、入札制度上問題はないのか。
答弁 最低制限価格を定める規定はないので問題は無い。
質疑 重要案件については最低制限価格を定める事が出来るとなっているが、認めなかった理由は。
答弁 深く認識していなかった。今後、設計金額500万円以上の業務委託または、特に必要と認められるものについては、最低制限価格を定めるものとして要綱を制定し、平成29年4月1日から施行する。

《**現地調査**》
 ・ 東部給食センター（相知町）
 ・ 久里小学校（久里）
 ・ 下久里公民館（下久里）
 ・ 神田お試し移住物件（神田）

市民厚生分科会

◎**戸籍住民基本台帳事務費**
質疑 マイナンバーカードの取得状況は。
答弁 3月1日現在の交付状況は、7926人で63%。
質疑 佐賀市では、カードの取得推進のため事業所などに出向く取り組みをされるが、唐津市は。
答弁 事業所に出向くなどの対策は考えていない。
質疑 セキュリティー等で、トラブルの発生は。
答弁 唐津市では無い。
質疑 マインバーを扱う職員の研究や注意喚起の状況は。
答弁 情報推進係りにおいて、情報セキュリティ研修会と併せて全職員対象に行っている。

◎**社会福祉総務費中、同和対策に係る団体補助金及び同和対策事業費**
質疑 同和関係支部補助金で活動の内容は。
答弁 同和関係の大会参加や、地元集会所での勉強会の開催と参加など。
質疑 予算審議で議論になるが同和对策費の必要性について明確に。
答弁 同和問題は同和地区に生まれたという理由だけで差別されるという日本固有の人権問題で、憲法で保障されている基本的人権にかかわる重要な問題と捉え、その解決は行政の責務であると認識し事業を行っている。

昨年12月には部落差別解消推進法が施行され、部落差別の解消に関し基本理念が定められ、国及び地方公共団体の責務が改めて明らかになり、市としては同和問題の解消をはじめ人権施策に今後も取り組みたい。
質疑 同和問題は、いまだ解決していないとあるが状況は。
答弁 一昨年の12月インターネット上で地名総監等の差別事象が発生しており、全国的な問題となっている。

◎**唐津市国民健康保険特別会計予算**
質疑 一般会計から繰り入れし運営がなされているが現在の状況は。
答弁 平成27年度の決算における約7億8千万円の累積赤字を平成28年度において法定外繰入などによって、約2億円の赤字解消を見込んでいた。平成29年度において2億円から3億円の繰入を行っても5億円程度の赤字が残る。決算状況を見ながら法定外繰入をする。
質疑 国保会計は非常に厳しいが、平成30年度県全体で広域化は避けられないが、赤字問題の協議は。
答弁 各市町の赤字は各市町が責任を持って解消もしくは、その後の広域化後解消計画を立てると決定している。広域化後の運営は県が財政運営の責任主体となり、国から公費拡充が予定されている。

質疑 県内統一後の保険料の見直しは。
答弁 平成30年度からの保険料については、現時点では上がるか下がるか判らない。

《**現地調査**》
 ・ 唐津市清掃センター（北波多）
 ・ 唐津市子育て支援センター利用者駐車場（東城内）
 ・ 唐津市子育て支援情報センター（南城内）

産業経済分科会

◎猪等駆除事業費
質疑 猪の被害がひどく、道路まで落石が来る状況で、災害に及ぶ可能性がある。抜本的な対策は。
答弁 鳥獣対策室、道路部局、鳥つくり部局、環境対策部局と連携を図り対応しているが、崩壊した法面の全ての工事となると難しい。
質疑 昨年より予算が少なくなっているが状況は。
答弁 平成28年度から狩猟期間も捕獲報償金を出しており2月末現在で6155頭が駆除され、例年より約1000頭多い。予算が少なくなっているのは、ワイヤーメッシュ電気柵の要望が減ったため。
質疑 駆除は増えているが、被害が多い。例えば、不妊治療など、何らかの対策はないのか。
答弁 猪は野生動物で家畜のように管理できないので難しい。駆除員の後継者を作りながら捕獲頭数を上げていく。
質疑 駆除する人を増やす取り組みを支援する対策は。
答弁 平成28年から駆除免許を最初に取りるときには費用の2分の1を補助している。離島においても研修会を開催した。
◎賑わいのまちづくり推進事業費
質疑 ファサード整備事業は何年度まで。また、希望件数は。
答弁 呉服町の景観形成に県の支援を利用している事業で平成29年度まで。これまで24件が終わり、残りは22店舗ほどあるが、10件ほど整備する。
質疑 中心市街地動向調査は公表するのか。
答弁 必要であれば市のホームページで、消費動向という形で公表する。



呼子朝市通り(呼子町)

質疑 空き店舗チャレンジのためにも、ホームページで公開しては。
答弁 空き店舗チャレンジに出展した方々も、事例として紹介していきたいと考えており、一緒に検討する。
◎市民協働のまちづくり交付金
質疑 本庁管内は中学校単位ということだが、公民館単位にならないか。
答弁 今度、中長期計画を立てていただいているので、何年かは現状で実施する。
質疑 事務が大変と聞くが、誰が中心的に行っているのか。
答弁 各センターでは市の職員が支援している。本庁管内では、公民館長が中心になっているところもある。
質疑 事務担当は、公平に配置すべきでは。
答弁 地域の中で、担い手、リーダーになる方の育成を含めて支援する。
《現地調査》
・呼子朝市通り(呼子町)
・呼子台場都市漁村交流施設(呼子町)
・旧大島邸(南城内)

都市整備分科会

◎道路維持改良費
質疑 私道整備助成金の採択要件は。
答弁 道路幅員が1.8m以上。両端が公道に接続。両端の一方が公道に接続し、他方が公共施設に接続等。補助率は、対象経費の50%。
◎道路照明管理費
質疑 街路灯の数とLED済みの数は。
答弁 街路灯数13204基のうち市が管理するのは9096基でLED化が1902基で20%。
質疑 LED更新の予定箇所数は。
答弁 20W相当191基、40W相当122基。
質疑 防犯灯設置助成予定箇所数は。
答弁 70基を予定。
質疑 1基当りの補助の内容は。
答弁 30000円までは全額。それを超えた場合は、超えた額の50%。
◎急傾斜地崩壊防止事業費
質疑 平成29年度の実施箇所は。
答弁 旧唐津市管内で7箇所、七山1箇所、鎮西1箇所。
質疑 採択基準は。
答弁 1箇所当たりの下限額が60万円で、自然傾斜が30度を超え、その高さが5m以上。人家5戸以上に直接被害を与えると認められる箇所。
◎みなとオアシスからつ事業費
質疑 唐津港緑地整備効果基礎調査とは。
答弁 想定するシンボル施設への来訪者数・来訪エリアの推計を行う。
◎浜崎駅周辺整備事業費
質疑 全体計画とJRの負担は。
答弁 駅舎は、コンパクトな1階建て、南側に改札口を新設。南北駅前広場はロータリー形式で、南北の自由通路を計画。JRは、駅舎の減価償却分を負担。
質疑 ロータリーを含め駅前広場の面積は。
答弁 北側2400㎡、南側2450㎡。
質疑 自由通路の構造と工事費用は。
答弁 有効幅員3mで階段とエレベーターが使える構造。約14億8千万円。
質疑 財源と補助率は。
答弁 地方創生道整備推進交付金事業で補助率は50%、補助残は合併特例債を予定。
【付帯意見】浜崎駅周辺整備事業及び関連議案については、変更後の整備計画を周知し、地域の合意形成を図るとともに、浜崎駅周辺整備事業全般において、慎重な予算執行に努められたい。
◎住宅・建築物耐震診断事業補助金
質疑 補助金の額は。
答弁 戸建木造、現状の図面ありで50000円、図面なしで75000円、各10戸。
◎住宅・建築物耐震改修補助金
質疑 補助金の額は。
答弁 木造住宅等で耐震補強工事の23%上限822000円で10戸。
《現地調査》
・市道長谷本村線(和多田)
・市道霧差山2号線(北波多)
・浜崎駅(浜玉町)

一

般

質

問

3月定例会の一般質問は、3月13日から16日の4日間行われ、20名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

●凡例

総務...総務部長、企画...企画部長、財務...財務部長
市民...市民部長、保健...保健福祉部長
農水...農林水産部長、商観...商工観光部長
交流...交流文化スポーツ部長、都市...都市整備部長
ボ事...ポートレース事業部長、教育...教育部長
鎮西...鎮西市民センター長、水道...水道局長

【質問】市民センターの権

限拡充とは。
【市長】地区の事は地区にある市民センターで判断できるよう、決裁権限の範囲やあり方も含め検討したい。

【質問】各市民センターのグラウンドの整備計画は。

【市長】市民の健康増進のため計画的に整備する。新市長の五つの約束について

【質問】利用団体と今後も協議が必要では。

【市長】有効な手段と考える。まずは、市民センターの組織や事務分担等を総合的に検討したい。

【質問】定期的に協議する場を設け、大会運営に必要な施設、維持管理の方法などご意見を頂く。

【市長】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【質問】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【市長】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【質問】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。



富田 幸樹
(志政会)



【質問】市民センターの権

限拡充とは。
【市長】地区の事は地区にある市民センターで判断できるよう、決裁権限の範囲やあり方も含め検討したい。

【質問】各市民センターのグラウンドの整備計画は。

【市長】市民の健康増進のため計画的に整備する。新市長の五つの約束について

【質問】利用団体と今後も協議が必要では。

【市長】有効な手段と考える。まずは、市民センターの組織や事務分担等を総合的に検討したい。

【質問】定期的に協議する場を設け、大会運営に必要な施設、維持管理の方法などご意見を頂く。

【市長】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【質問】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【市長】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。

【質問】完成までの2年間は河畔球場がメインとなるが、整備の考えは。



大西 康之
(志政会)



老朽化している唐津市民会館と曳山展示場

【質問】国際会議などが出来る施設の設置検討とは。

【市長】国際会議の開催地は、福岡が2位。会場、宿泊施設が不足。この不足部分を補えるのは唐津市である。市民会館も老朽化しており、改築の際は国際会議に対応出来る様な施設へ、財政状況を見ながら検討する。

【質問】観光資源を発信、研磨し世界へ発信とは。

【市長】消費者が求めるものを売る「マーケットイン」の発想が必要。この視点から、観光資源を掘り磨き上げを行う。観光客が求めるものを見つけて、商店の挑戦。

【質問】宿泊数を考慮して隣接をアピールし、サブ会場、オプションツアーの誘致が現実的では。

【市長】提案を含めて対応する。

【質問】観光資源を発信、研磨し世界へ発信とは。

【市長】消費者が求めるものを売る「マーケットイン」の発想が必要。この視点から、観光資源を掘り磨き上げを行う。観光客が求めるものを見つけて、商店の挑戦。



橋崎三千夫
(清風会)

市長の政治姿勢について
【質問】「担い手・後継者の助成を積極的に」とあるが、農業者は異性との出会いの機会が少ない。又、法人化等により労働力の不足も深刻化しているが。

【市長】第一次産業は、唐津の基幹産業と位置付けている。儲かる農業の位置づけと、嫁問題も大事と考える。優良経営者の意見を参考にして、嫁問題とともに、有効な施策を考えたい。労働力については、国の制度で「農の雇用事業」がある。

【質問】唐津産食材ブランド化の推進とは。
【市長】唐津独自政策により生産・観光・教育・安心・発信力を高め、イメージアップを図る。唐津玄海地区農畜産物ブランド確立協議会と連携し、トップセールス等で、都市ブランド化形成を図る。

【質問】ブランド化には、情報発信が大事では。
【商観】流通部門と生産部門が連携をとり、ネット



東部学校給食センター

ワーク構築を強化して、情報発信を図りたい。

【質問】学校給食について

【質問】一中・五中だけが市内で選択式弁当である。アンケートの結果は。

【教育】完全給食及び、どちらかと言えば完全給食を望む人が91・8%。時期についても出来るだけ早くが85・7%である。

【質問】このアンケート結果をどう捉えているのか。
【教育】平成29年2月定例教育委員会で、基本構想を議決。東部センターは平成31年までには、4千食から6千食に機械を整備。その後順次自校式を取り込んでいく。西部センターは、現在のセンターの老朽化を勘案し、東部センターの可能食数、児童・生徒の推移を考慮して計画し、完全給食を目指していききたい。



進藤健介
(志政会)

市長マニフェスト(公約)について

【質問】講演会活動でのリーフレット、選挙運動用ビラ、ホームページ、新聞等取材時の発言は全て公約と理解して良いか。
【市長】私の公約は、講演会活動に使ったリーフレット、選挙期間中に使った選挙公報ビラを公約と考えている。

【質問】ホームページに掲載されている「既得権益」と決別し、クリーンで透明性の高い市政運営を行います」とあるのは公約ではないのか。
【市長】公約ではなく政治心情として掲載した。

【質問】選挙運動用ビラに書かれている公約の実現に向けてのタイムスケジュールと財源はどのようなか。
【市長】本市の喫緊の課題として、人口減少対策、新庁舎建設、市政の信頼回復といった多くの課題がある。これらの課題の進捗状況を見ながら可能

なものから取り組んでいきたい。また、財源に関しては、公約に掲げた事業を予算化していく際には、財源や具体的なスケジュールを十分に精査して議会の議論をいただきたいと考えている。
【質問】公約実現のための財政計画はどうなっているのか。
【財務】財源は限られている。ある事業を我慢してもらおう事もあるだろう。今年度中には平成33年度以降の財政計画に着手したい。



第2次唐津市総合計画



山下正雄
(志政会)

峰市長の市勢活性化に対する基本的考え方について

【質問】唐津市の市勢は落ちてきている。経済活性化はどう進める。
【市長】農林水産業のブランド化を推進する。企業誘致や中小企業・商店街の事業支援をし、雇用の創出を図る。

【質問】第2次総合計画では停滞を脱却できない。市内総生産額を4000億円に、市民所得を県10市の平均に等々、数値目標をたて、力強い施策を進めてもらいたい。
【市長】具体的な施策を展開したい。

【質問】前市長が力を入れたコストメック構想は経済分野だけでなく、第1次産業や教育・研究分野など幅広く市を活性化させる施策と思うが。
【市長】推進していく案件と認識している。短期的成果も追うが、中長期的視野をもって取り組む。

【質問】周辺地域は特に過疎化し、元気がないが対策は。
【市長】若者の人口流出が一番の原因。食い止め引き戻すための環境の整備イメージ創り、情報発信を考えていく。第1次産業をさらに稼げる産業に成長させる。



唐津駅

【質問】市発展には福岡都市圏の発展を取り込む施策が有効と考えるが。
【市長】福岡市への通勤通学しやすい環境を整えることは転出者抑制に効果がある。また域外から外貨を獲得でき、重要な施策になる。

【質問】教育は社会経済発展の基礎で、高等教育機関は市のさらなる発展に必要なと考えるが。
【市長】社会情勢は大変難しい状況。大学連携を通じて、可能性を探っていききたい。



山下 壽次
(清風会)

高齢者（交通弱者）の通院、買物問題について

質問 免許証の自主返納状況、併せて、自主返納に対する市の考え方は。

保健 県内では増加傾向にあるが、唐津市では平成26年201件、27年219件、28年192件と昨年は1割減少。本市の地域課題を検証し、自主返納が進む環境づくり・支援策をできるだけ早く講じていきたい。

質問 交通弱者人口はどのように推移するか。
保健 総人口は減少を続けるが、高齢者が増える今後10年間程度は増加すると思われる。
質問 公共交通と交通弱者の問題点は。

交流 市内には公共交通空白地が点在している。交通機関利用者が減少しているため、運行事業者への補助金が毎年度発生している。
質問 住み慣れた地域で安全安心に暮らすための課題と取組は。

交流 運行事業者への赤字補填補助金と交通弱者に配慮した交通体系の構築が必要と考える。
商観 生活環境を維持するための移動販売事業等を実施している。支援制度の周知を行い、事業者の参入を促す。
保健 交通弱者の通院・買い物問題は、早期に着手すべき課題と位置付けている。関係各課と連携を図り、地域で安心して生活できる「地域包括ケアシステム」を構築し、交通手段・買物支援等の地域支援に取り組んでいきたい。
農地・農業施設の災害復旧について
質問 補助対象外の小規模災害への取組は。
農水 他の市町の対応状況等を調査研究し、再度検討する。



高齢者生活福祉センターひぜん荘



吉村 慎一郎
(志政会)

からつ独自の稼げる農林畜産・水産業の振興について

質問 認定農業者、営農組合、農業法人の現状は。
農水 認定農業者数は、766経営体、営農組合は2経営体、農業法人数は56経営体である。

質問 営農組合が2経営体と、集落ぐるみで農業生産活動を共同で取り組む集落営農が進んでいない要因は。
農水 中山間地域では集落営農を確立する上で課題となる「誰が地域集落の農地を守っていくのか」また、「将来にわたり安定した営農組織を作るためにはどうしたらよいか」と云った本質的な話し合いになると、議論が深まらない状況である。
質問 担い手対策として、新規就農者やある程度経験を積んだ、発展段階にある農業者への支援は。
農水 平成29年度から、新規就農者が抱える「経営・技術」、「運営資金の

確保」、「農地の確保」の各課題に対応できるように、各関係機関の専属担当者を1名張り付け、指導や相談等のサポート体制を構築する。
質問 市長が自ら参加、体験した農産物のトップセールスでブランド化を推進していく上で、どう感じ取られたのか。
市長 生産者のこだわりや思いなどの価値を市場関係者へ十分に伝えることがトップセールスの役目であると感じた。
質問 既に知名度が高い、呼子イカや佐賀牛、ハウスマニカン、イチゴなどの更なる認知度向上対策は。
商観 大都市圏を中心に各関係機関と連携し、トップセールスや商業施設での唐津フェアにより、更なる認知度向上を図る取組みを進める。

確保」、「農地の確保」の各課題に対応できるように、各関係機関の専属担当者を1名張り付け、指導や相談等のサポート体制を構築する。
質問 市長が自ら参加、体験した農産物のトップセールスでブランド化を推進していく上で、どう感じ取られたのか。
市長 生産者のこだわりや思いなどの価値を市場関係者へ十分に伝えることがトップセールスの役目であると感じた。
質問 既に知名度が高い、呼子イカや佐賀牛、ハウスマニカン、イチゴなどの更なる認知度向上対策は。
商観 大都市圏を中心に各関係機関と連携し、トップセールスや商業施設での唐津フェアにより、更なる認知度向上を図る取組みを進める。



唐津Qサバ



福島 尚美
(日本共産党 唐津市議団)

高齢者・免許返納者の交通手段について

質問 唐津市の高齢者の交通事故の現状は。
保健 唐津市の現状がわかるデータがない。佐賀県くらしの安全安心課発行の「交通安全ニュース」から、県内で平成28年1年間の死亡に至った交通事故35名のうち、19名が65歳以上だった。高齢者の方が加害・被害となる事故は高い割合で推移している。

質問 対応は。
保健 路線バスや乗合タクシーを行う業者へ赤字補填をして公共交通を維持している。
質問 学校給食の無償化について

質問 峰市長の学校給食の無償化への考えは。
市長 子育て支援や地域振興の観点から考えていたが、経費や財源の問題、一中・五中の完全給食化、給食センターの運営など課題が多い。国の方針や全国の状況をみながら段階的なステップを踏んでいく。
質問 市長は福島第一原発事故から何を学んだか。
市長 原子力安全への過信を戒めるものであり、二度と起こしてはならない。
質問 原発を学ぶために取り組んできたことは。
市長 県議会議員として福島県や玄海原子力発電所の視察を行い、対策を議論してきた。
質問 二度と原発事故を起こさないためには代替エネルギーが必須だが、
企画 神集島のレンズ風車を九大と連携して取り組んでいる。また、協議会を設け、研究者から意見をもらっている。企業誘致では今後、大型風力発電機8基を建設予定。

質問 峰市長の学校給食の無償化への考えは。
市長 子育て支援や地域振興の観点から考えていたが、経費や財源の問題、一中・五中の完全給食化、給食センターの運営など課題が多い。国の方針や全国の状況をみながら段階的なステップを踏んでいく。
質問 市長は福島第一原発事故から何を学んだか。
市長 原子力安全への過信を戒めるものであり、二度と起こしてはならない。
質問 原発を学ぶために取り組んできたことは。
市長 県議会議員として福島県や玄海原子力発電所の視察を行い、対策を議論してきた。
質問 二度と原発事故を起こさないためには代替エネルギーが必須だが、
企画 神集島のレンズ風車を九大と連携して取り組んでいる。また、協議会を設け、研究者から意見をもらっている。企業誘致では今後、大型風力発電機8基を建設予定。



神集島 レンズ風車



中川 幸次
(公明党)

児童の健全育成について
【質問】被虐待児童の自立を支援する「里親制度」に対する市の方針は。

【保健】佐賀県の里親数は平成27年4月1日現在で登録里親数が69人、そのうち受入している里親は22人、里親に受入れられている児童数が28人。要保護児童の受入状況は、児童養護施設等9割里親等1割となっているが、佐賀県では家庭的養護推進計画として平成27年度から15年間で、施設で3割、グループホームで3割、里親等で3割に分散化する目標を掲げている。市としても1校区里親1人以上の県目標が達成できるよう連携して取り組む。

【質問】施設の長寿命化や省エネルギーによりコストを削減し、普通教室へのエアコン設置の検討は。

【教育】平成27年度の学校施設電気料は約1億円で

75%が電灯分とすると、約7千5百万円となり、LED化することにより4割の約3千万円の年間コストが削減できる。普通教室へのエアコン設置には約15億円が必要で、財政部局と年次計画等協議し、学習環境の整備を図るため検討する。

【質問】老朽管の更新計画策定の進捗状況及び事業費等の財政見通しは。

【都市】本年度に老朽管更新の基本計画を策定した。平成30年度から工事に着手し、事業費は約88億円更新期間は15年、20年程度を予定している。財政見通しは、平成30年度末には資金不足に陥る見込みで、安定的な水供給のためにも、水道料金の値上げが必要。



白水 敬一
(公明党)

合併特例債を活用した大型事業の推進について

【質問】合併特例債の残額101億円を活用する今後の事業の計画は。

【財務】本庁舎、蔵木・相知・浜玉市民センター建設、消防4分署、唐津市野球場改修等体育施設の整備。

【質問】平成32年度までの特例債活用の問題点は。

【財務】大規模事業の集中により、発注側の体制や企業の受注困難が生じて市内経済への影響も懸念事項。特例債活用期間の延長も要望している。

【質問】総合計画・地域の合意形成の中での特例債活用の継続は必要だ。市長の考えは。

【市長】本庁舎や地域の検討委員会を進めている市民センター建設は継続的に建設していく。公共施設への全洋式トイレ化について

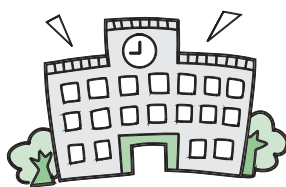
【質問】平成23年度から3年間の全校に洋式トイレの配置実績と現状は。

【教育】3年間で和便器しかない学校に洋便器を設置する事業は15学校で105個の設置。現在は48校に708個で設置率は39・5%。全国の平均は43・3%で遅れていることを実感している。

【質問】全洋式トイレ化への今後の取り組みは。

【教育】平成25年度の大規模改造・改築事業から洋式トイレ化を進めている。「標準適正器具数の全洋式化」を進めていく。今後5年間で改造・改築で12校舎54個のほか、10校舎30個の整備を進めていく。

＜その他の質問＞
◎子どもの貧困対策に向けた給付型奨学金等の充実について



石崎 俊治
(志政会)

観光について

【質問】各地区にある観光案内板の整備状況について伺いたい。

【商観】各地区・市民センターで管内の内容を協議し、今年度末までに統一感のある観光案内板を43か所設置して行きたい。

【質問】唐の津風景街道のサイン計画の進捗状況は。

【商観】今年度末までに最終的なデザインを決定し、予定としては、平成29年度に設置個所の設計業務、平成30年度と平成31年度で、市内23カ所のサイン整備を終わりたい。

【質問】唐津焼振興室としての今後の取り組みは。

【商観】各団体とも連携し、伝統と本物の情報発信や、使い手である消費者ニーズに立った事業の展開と新年度においては、唐津焼きをジャパンエキスポ・パリに出店する事による国内でのブランド力の強化、飲食店との連携。「日本遺産」認定等を活用し、国内外への情報の

発信等々に取り組みたい。肥前さが幕末維新博について

【質問】「肥前さが幕末維新博」への唐津市としての取り組みは。

【交流】県は、市町での自主事業の実施等を想定している。県の補助金等々の状況を見極め、唐津の近代化に尽力した人々の顕彰を、耐恒寮や大島邸等を活用して、開催していきたい。

【質問】日本遺産の活用について市長の考え方は。

【市長】有田焼などの磁器のルーツは唐津焼である。日本遺産認定のストーリーに明記されているので、日本遺産も有効に活用しながら、唐津焼を産業化させる取り組みが必要だと考えている。



唐津焼



宮崎 卓 (清風会)

地方創生事業と唐津について

質問 地方創生の意義は。

企画 人口急減、超高齢化に直面する課題に、国をあげて行う「まち、ひと、しごと創生法」が制定され、市も「創生総合戦略」を策定。「地域の特性に即した地域課題解決」など三つの視点で、平成31年度までに達成すべき施策と目標を掲げたもの。

質問 市が考える地域づくりとは。

交流 住民と行政が協働し一体化すること。15の地域で地域づくりに頑張ってもらっている。

質問 鎮西センターの地域づくりの現状と今後の問題点について。

鎮西 地域まちづくり会議を組織し6団体がまちづくり交付金を活用し、3団体ががんばる地域応援補助金を活用している。課題は若人の人材育成と協働。窓口の一本化。事務局の体制づくりが急務



JAからつキャトルステーション

質問 市長の考えは。

市長 地域の課題解決には、実情に基づき予算措置を考える。市・民一体が必要である。からつの畜産振興について

質問 JAからつの平成27年度の農畜産物の売上は。

農水 290億9千万円。

質問 繁殖農家数の十年前と現在の推移は。

農水 平成18年、299戸、平成28年198戸で101戸の減

質問 肉用牛の課題は20頭以下の農家が7割。後継者がいない農家は、廃業すると思われる。その解決方策は。

農水 労力軽減のためキャトルの増築、牛舎、生産拡大用機械など補助を行い、併せて、耕畜連携等を活用した飼料の生産拡大に取組、作業環境の改善を講じたい。



伊藤 泰彦 (清風会)

湊地区の振興について

質問 佐志く唐房パイパスの進捗と今後のスケジュールについて。

都市 平成27年度末の進捗率は、事業費ベースで約62%。トンネル工事着手後、トンネル完成まで概ね3年、4年程度かかり、トンネル工事の完成に合わせた供用開始を目指している。

質問 志坂鼻ショートカット工事を含め、相賀く湊580m区間の今後のスケジュールは。

都市 平成30年度の供用開始を目標として工事を進めている。

質問 湊く屋形石1車線区間の今後のスケジュールは。

都市 平成29年度用地測量に取り組み予定である。今後、海岸側を拡幅する計画であり、開通まで、工事着工から概ね5年程度かかると見込んでいる。
質問 相賀消防格納庫の整備と今後のスケジュールについて。



国道204号線湊工区の工事風景

消防長 平成29年度用地取得、平成30年度に消防格納庫を建設し、平成31年4月からの運用開始を予定している。

質問 相賀漁港海岸越波対策の今までの整備状況と今後の計画は。

農水 平成23年度に巨石を利用し、護岸改良を180m実施し、平成25年度に離岸堤180mを設置した。今後の計画は、平成28年度に「相賀漁港海岸基本計画」を作成し、地元との協議を行い、早期着工及び早期完成を目指す。

質問 空き家対策について

質問 市内に空き家対策に関わる部署が三部署あるが、一部署での対応、窓口一本化は出来ないか。

企画 部署統合、窓口一本化に向け検討する。



江里 孝男 (志政会)

市民センターについて

質問 各市民センターの強化で「合併による地域格差解消」をどう考えているか。

市長 市民センターのみでは対応できず、本庁に繋いで判断するような事案も多くなり、地域の要望や意見に対する対応が遅れていることが一番の地域格差と考えている。

質問 権限拡充について

は、現在の組織では、本庁各課と市民センターの課の連携がとりづらい面がある。組織改革が必要では。

市長 地域の課題や問題を地域の拠点となる市民センターで完結し、要望等に対し迅速に対応できる体制や組織を検討する。

質問 市民センターの特色強化を図るためには、地域に応じた課の配置が必要ではないか。

市長 市民センターに地域の特色に応じた課の設置については、今後の機構改革の中で検討していきたい。



巖木市民センター

きたい。
質問 新聞に掲載された「支所機能のあり方は改めて検証が必要。市民センターの統廃合もあり得る」と発言されている。公約である、市民センターの強化と違うのでは。

市長 公約で示した「市民センターの強化」については、ソフト面の強化を示したもので、市民センター機能のあり方について再検証したい。

質問 浜玉、相知、巖木の市民センター建設についてどう考えているのか。

平成32年度完成に向けて進めるということと理解しているのか。

市長 3つの市民センター建設については、地元建設検討委員会の結果を踏まえ、合併特例債の期限である平成32年度完成に向けて進めていく。



青木 茂 (5期) (志政会)

市民ファーストと「からつ力」について

質問 市長が掲げる市民ファーストを考えた場合、地域や行政職員等とのコミュニケーションの取り方が重要となるが。

市長 垣根を下げていくことが大切と考える。

質問 公約に掲げてある、唐津創生会議とは。

市長 多業種・多地域より色々な方々に参加頂き、声を把握できる場と考えている。

質問 現在、多くの基本計画は、様々な方々の参加を頂き策定されているものと考えている。この方法の見直しや、更なる磨き上げを行う等の検討も必要と思うが、現在どう行われているのか。

企画 個別計画については、それぞれの所管で、関係する委員を選定し決定している。

質問 新たな政策を市政運営に取り込んでいくとした場合、個別計画との整合性を図っていく必

要があると考えながら。
市長 タイムリーにしっかりとした精査を行い、議会にも報告していきたい。

質問 からつ力に掲げている、外国語教育について市の考えは。

教育長 平成32年度より、小学校3〜4年生で週1時間の外国語活動、5〜6年生で週2時間の教科外国語が実施され、益々重要となってくる。

質問 外国の地での体験型教育という観点から、交流意向書を締結し、様々な現地との関係も培ってきたグアム準州との、更なる教育・スポーツ等の交流を深めていってはどうか。

市長 子供達にとって、使い易い助成制度の検証等を行い、積極的に取り組んで参りたい。



グアム JFKハイスクール



浦田 関夫 (日本共産党 唐津市議団)

峰市長の政治姿勢について

質問 峰市長が選挙中に掲げた公約が「後退」した発言がみられる。情報発信はどうするのか。

市長 あらゆる場面で説明して参りたい。

質問 玄海原発について

質問 玄海原発の再稼働については「条件付き賛成」の立場だが「条件」とはどの様なものか。

市長 「条件」とは、市民の安全の確保である。

質問 原子力災害から市民を守る「避難計画」は十分であるとの認識か。

総務 「防災計画」については、安倍首相が承認し、一定のレベルにあると認識している。

質問 受け入れ市町との協議は済んでいない。何時までに整うのか。

総務 県との協議は行っているが、受け入れの協議は早急におこないたい。

質問 玄海原発再稼働の判断の前に、市長は、福島の実態を見るべきでは

ないか。
市長 4年前の県議時代に福島原発は視察している。また、外国の原発も視察した。

市職員の法令遵守と倫理観について

質問 「市民交流プラザ」の利用団体が、料金を徴収しながら無料扱いで長期貸し出されている。そのことを承知しているか。

交流 その事は承知している。

質問 行政は、公平・公正を期さなければならぬ。

交流 条例にはそぐわないところがあるが、市民交流プラザは市民の賑わい創出の場でもあり、県から支援を受けた経緯もある。



市民交流プラザが入居する大手口センタービル



原 雄一郎 (志政会)

観光行政について

質問 大林宜彦監督お気に入りのお店を紹介や、映画をイメージした商品の開発をすることで民間が儲かる取り組みも検討して欲しいが、唐津映画「花筐」について①市の捉え方はどうか②配給補助③来唐されたファンへの対応は。

商観 唐津の変わらない風景を後世に残していくための息の長い作品として捉えている。早急に検討する。ロケ地マップや市内のタクシース会社との連携、ロケ地ガイドの育成を検討している。

質問 一次産業から三次産業まで「唐津市全域の全産業が儲かる仕組み」を意識して欲しいが、唐津版DMOの①役割と②必要性については。

商観 多様な関係者の合意形成、データの収集と分析、戦略の調整と仕組みづくり。安定的な資金の確保。つまり地域が一丸となって、ゴール設

定をしてプロモーションしていくことで、「唐津が観光で儲かる仕組みづくり」に取り組むこと。必要性は十分感じている。しっかりと議論を深めたい。

質問 観光で使用しているデータとその取扱いについては。

商観 現在活用しているデータは「観光客の入込数」や「宿泊客数」。また旅行者ニーズを把握するためウェブ調査やGAP調査も実施。その結果「福岡市場での唐津の来訪意向は、40代男性、20代女性が高く、全体的に「食」への興味が高い」ことがわかった。これらのデータについては、現在カルテとしてまとめている。



七ツ釜



馬場 幸年
(志政会)

潜在的な待機児童（隠れ待機児童）について

質問 保育施設及び保育士の現状は。

保健 平成29年3月1日現在、「認定こども園」が8施設で利用率89・7%。「私立保育所」は33施設で利用率100%。「公立保育所」は6施設で利用率71・6%。認可外保育施設は8施設。保育士の現状は、認可保育施設で常勤650人、短時間や臨時的勤務が1500人の計8000人。

質問 待機児童と隠れ待機児童の線引きは。

保健 保護者が希望は出していないが、片道30分程度で通える入所可能園が管内にあるか否かで判断している。

質問 隠れ待機児童の実態は。

保健 全体で48人。内6割が0歳児で29人。

質問 隠れ待機児童解消への取り組みは。

保健 保育需要の面で利用率の高い園に対しての

クラス配置の見直しや増築などの打診、また、保育士数増加の支援や新たな受け皿を確保するため補助の拡大や優遇措置などを考えていく。

水道事業の今後の見直しについて

質問 平成30年度に水道料金値上げの方針だが、現在の水道料金の県内での位置、また、料金改定はいつ以来なのか。

水道 10㎡当たり県内17事業者の中で下から2番目。20㎡で下から5番目。水道料金の原価自体は市町村合併前の平成5年4月に改定して以降、現在までしていない。

質問 周知の方法は。

水道 条例改正を提案する前に、経営状況、今後の経営見通しについて市報や市のホームページにおいて広く周知を図る。



宮本 悦子
(公明党)

がん対策について

質問 がん検診の受診率の状況は。

保健 がん検診全体では23%前後、50%の目標に対し子宮がん検診では85・8%、乳がん検診では45%となっている。

質問 罹患率・死亡率の状況は。

保健 佐賀県の最新報告平成24年度分では子宮がんの罹患率76・1人、乳がんでは66・9人。死亡率については平成25年のデータで全国290・3人、唐津市329・3人となっており、死因の第一位。

質問 コール・リコール制度の実施状況と効果について。

保健 平成27年度においては、子宮がん検診で、リコール後33人が増加、乳がん検診で48人の増加となっている。

質問 乳がん検診の対象を35歳から。又エコー検診を取入れ出来ないか。

保健 国の動向を見ながら調査研究していく。

高齢者の住みよい町づくりについて

質問 高齢者ドライバーの免許保有者の推移は。

保健 5%程度、約1000名、毎年増加。

質問 自主返納が唐津市で進まない要因は。

保健 広い範囲で集落が点在し、公共交通網が不十分で日常生活を送る上で手放せないことが要因

質問 3月12日施行の道路交通法改正の内容は。

都市 75歳以上の方は免許更新時、逆走等18項目の違反をした時は認知症検査が強化など。

質問 コミュニティバス等、地域毎に対策をとる必要があるのでは。

市長 地域毎に意向を集約し早急に取り組む。
＜その他の質問＞
◎女性が活躍しやすい環境づくりについて



伊藤 一之
(社民党)

峰・新市政について

質問 「唐津を変え、信頼を取り戻す」と公約しているが、どうして信頼を失ったと認識しているか。

市長 相次いで幹部職員などが逮捕され、前市長の後援会幹部や事業者などとの不明瞭な関係が不信感を招いたと考える。

質問 給食費の無料化などの数値を掲げた公約の実現性は。

市長 あくまで公約である。財政的なものを考えながら、提出をしていきたい。

質問 市長等の政治倫理条例について、新聞アンケートでは「より強制力のあるものに改正したい」と回答しているが。

市長 政治倫理審査会で、調査対象者の意見陳述は、確実に行われる必要があるのではないかと考える。

原発問題について

質問 基本的に原発を電源としてどう考えるか。

市長 安全性を大前提に、一定程度、原子力に頼ら

ざるを得ないと考える。
質問 九電との安全協定を検証すると発言しているが。

市長 九電との協定については詳しく知らず、確認することによって九電との安全協定の見直しを含めて検討する。

質問 交通バリアフリー構想での重点整備地区選定の経緯は。

都市 和多田駅を含む市内5駅の周辺地区から、唐津駅と東唐津駅の周辺地区2地区を選定した。

質問 市道・東町和多田線の歩道は狭く段差が多い。その解消は。

都市 道路改良工事については事業規模が大きくなるので、今後、局部的な改良を含めて効果的な対策を講じていく。



市道・東町和多田線の歩道

玄海原子力発電所対策特別委員会審査報告

平成29年4月6日に特別委員会を開催し、下記の様にとりまとめ、市議会議長に提出し、同日、市議会議長と共に唐津市長へ申し入れを行った。

申入書(要旨)

これまでの特別委員会の議論・現地調査を踏まえ、玄海原子力発電所3・4号機の再稼動については、一定の安全性は理解したものの、原子力を利用するに当たっては、リスクはゼロにならず、安全に完璧や終わりはない。

そこで是非とも唐津市におかれましては、国や県と連携し、次の項目について、確実に実施していただきたい。

- 1 より一層の市民の安全・安心に向けた取り組みの充実を早急に図ること。
(1) 円滑な避難に資する避難道路の整備、離党からの避難手段の確保、避難受け入れ市町との連携確立。
(2) 地域ごとに避難訓練の更なる充実と実行を図り、市民の不安解消を早急に行うこと。
- 2 九州電力株式会社に対しては、玄海原子力発電所の管理体制の充実強化及びヒューマンエラーの防止対策の徹底を図ること。
- 3 国に対しては、使用済核燃料対策について、最終処分施設、中間貯蔵施設の早急かつ慎重な対策を講じるとともに、再生可能エネルギー政策の推進を図ること。

以上、再稼動については、市民の不安を早急に払拭することが喫緊の重要課題であり、確実に対応することを考慮したうえで、慎重な判断をされるよう申し入れます。



市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

合併特例債の発行期間の再延長を求める意見書

合併市町村の均衡ある発展に資する公共的施設整備などを推進するために発行できる合併特例債については、発行期間は10年間とされていた。

その後、東日本大震災の教訓から、耐震や災害対策強化の必要性が生じ、事業終了が困難となったことから、発行期間を平成32年度までの5年間延長されている。

その後、東日本大震災や熊本地震の復興促進、2020年の東京オリンピックの決定に伴う関連施設整備など建設需要の増大、建設単価の上昇が想定できる。

また、合併特例債の発行期限である平成32年度まで残り4年となり、建設需要やそれに伴う予算規模が一時的に膨張することが予想される。

政府においては、このような情勢を踏まえ、建設需要の平準化及び地方財政の安定を図るためにも合併特例債の発行期限を、さらに5年間、平成37年度まで延長されるよう強く要望する。

その他の意見書

- 無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書
- 海洋ごみの処理推進を求める意見書

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

新たに3つの特別委員会を設置しました。 ◎委員長 ○副委員長

玄海原子力発電所対策特別委員会

平成29年2月17日 設置

目的：玄海原子力発電所に関する諸問題全般に対応することを目的とする。

委員定数 30名（議員全員）

◎三浦重徳 ○伊藤泰彦

新庁舎建設に係る特別委員会

平成29年3月24日 設置

目的：新庁舎建設に係る様々な課題を把握・検証し、新庁舎及び議場等建設に関し、市民サービスの向上に資することを目的とする。

◎熊田大成 ○伊藤一之
 田中秀和 青木茂(1期)
 古藤宏治 酒井幸盛
 富田幸樹 大西康之彦
 馬場幸年 伊藤泰茂
 福島尚美 笹山成
 水上勝義 三浦重徳
 川幸次

交通弱者対策に係る特別委員会

平成29年3月24日 設置

目的：人口減少・少子高齢化社会を見据え、交通弱者対策に関するバス路線等の諸問題への取組みの検証を目的とする。

◎白水敬一 ○浦田関夫
 中村健一 原雄一郎
 山下壽次 林正孝
 吉村慎一郎 江里樹男
 檜崎三千夫 宮崎卓
 青木茂(5期) 石崎俊
 山下正雄 進藤健
 宮本悦子



唐津市子育て支援情報センター（南城内）

市民厚生分科会



下久里公民館（久里）

総務教育分科会



市道霧差山2号線（北波多）

都市整備分科会



旧大島邸（南城内）

産業経済分科会

分科会の現地調査

予算等特別委員会は、付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- ・委員長 富田 幸樹
- ・副委員長 大西 康之
- ・編集長 吉村慎一郎
- ・委員 原 雄一郎
- ・委員 青木 茂(1期)
- ・委員 古藤 宏治
- ・委員 山下 壽次
- ・委員 林 正樹
- ・委員 江里 孝男
- ・委員 馬場 幸年
- ・委員 福島 尚美
- ・委員 伊藤 一之
- ・委員 宮本 悦子

編集後記

市長・市議会改選後、はじめての当初予算について、議案質疑及び一般質問が活発に行われました。新市長の考え方、今後の方向性に関する質疑や質問が多くあった議会でした。

その一部を市民の皆様へお届けすべく、編集作業に取り組みました。編集委員も刷新し、一期議員さんの多くの参加を頂き、慣れない中での編集作業となりましたが、委員全員の努力により発刊することが出来ました。

今後とも、市民の皆様身近な「唐津市議会だより」として発刊致しますので、ご意見など多数お寄せ頂きます様お願い致します。

（「唐津市議会だより」は再生紙を使用しています）

◎ 発行：唐津市議会
 ◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会
 唐津市議会事務局内
 ☎ 72-9162 FAX 75-1515
 (☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)